

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2009年4月10日

No 256

発行者 ELIC編集委員会谷口利男
108-0073 東京都港区三田3-2-20
(03)3455-6006 Fax3451-3595
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

金融危機と企業会計の「からくり」



電機労働者懇談会（電機懇）は、3月28日（土）都内で「電機大企業の危機宣伝を打破しよう、金融危機と企業会計のからくり」をテーマに緊急学習会を開催しました。この学習会には、10企業の21職場・電機ユニオンから44名が参加しました。

電機懇今井代表は「09春闘の本番直前に各企業が一齐に巨大な赤字決算となる見通しと発表し、ベアゼロ・労働条件を全面的に切り下げた中、学習会を行なう事にした」と開会挨拶をしました。

講演は、角瀬保雄法政大学名誉教授より「金融危機と企業会計のからくり」と題して講演されました。（講演要旨は二面に掲載）

質疑では、講演に関連して5名から出された質問にそれぞれ丁寧に説明をして頂きました。職場報告では、電機懇井坂政策委員長より「電機連合の09春闘の結果と特徴・問題点」について、日立から馬場さんが「日立の決算における7000億円の赤字内容」、NECの森さんから「NEC真空硝子における再雇用の闘い」、OKIセミコンの鹿野さんから「八王子工場における700人の早期退職・派遣切り裁判の闘い」について報告されました。

最後に、電機懇谷口事務局長は「4・22中央総行動」に参加してともに闘おうと呼びかけました。

今月号の紙面

- ①電機懇「企業会計」学習会
- ②角瀬講演内容の概要
- ③09春闘で電機懇が抗議談話
- ④日立は賃金カット休日やめよ
- ⑤電機各社で早期退職実施
- ⑥私の自慢「野球」五十嵐氏
- ⑦電機ユニオン、青年コーナー
- ⑧4・22中央行動、集積回路、
「電機九条の会第四回シンポ」